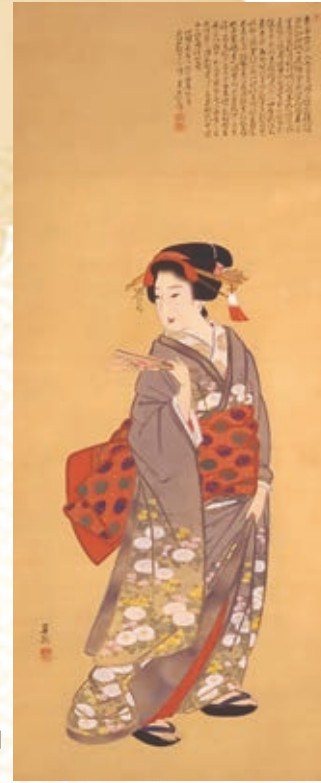


企画展

OPAM地域美術館 at 大分県立歴史博物館
博物館で“美”の探検
大分県立美術館コレクション

令和6年4月26日(金) → 6月9日(日)

れきはくにOPAMの美術作品がやってくる！
大分県立美術館(OPAM)が所蔵する多様な収蔵作品を県内各地域で展示するOPAM地域美術館。今回は、県北地方にゆかりの作家や作品を紹介し、地域の芸術に触れる機会を提供します。れきはく所蔵作品とのコラボレーションもあります。



吉原真龍 美人図 (大分県立美術館所蔵)

企画展

重要文化財「大分県免ヶ平古墳出土品」
修理完了記念
れきはくコレクション2024

7月5日(金) → 9月16日(月・祝)

当館が所蔵する重要文化財「大分県免ヶ平古墳出土品」の保存修理事業が、令和5年度末で終了しました。文化財の保存修復の成果を披露するとともに、大切な文化財を後世に伝えていくことについて考える機会とします。あわせて、歴史・考古・民俗・美術の各分野から、当館自慢のコレクションを広く紹介します。



重要文化財大分県免ヶ平古墳出土品 (当館所蔵)

特別展

大分野球 — 栄冠が大分に輝いたとき —

10月18日(金) → 12月1日(日)

令和3年の東京五輪、同5年のWBCと、「侍ジャパン」と呼ばれる代表選手に大分県出身のプロ野球選手が名を連ねました。思えばプロ野球において、大分県は多くの名選手を輩出してきました。また野球部としても、都市対抗野球大会での別府星野組や甲子園大会での津久見高校など、全国優勝という誇るべき結果を残してきました。本展は日本における野球の発祥や発展にもふれつつ、おもに大分県における野球の歴史をふり返ります。県内野球部や県内出身野球選手の活躍、いわば大分の野球において「栄冠が輝いたとき」を紹介します。



昭和24年の都市対抗野球大会で優勝した星野組 (大分合同新聞社写真提供)

企画展

宇佐神宮創建1300年記念
八幡信仰の至宝

令和7年1月24日(金) → 3月2日(日)

2025年は小椋山に八幡神が鎮座してから1300年目にあたり、また秋には10年に一度の勅祭が執り行われるなど、宇佐神宮や大分県にとって記念すべき年です。この展示では八幡神が歴史の中で強く関わってきた朝廷や武士そして市井の人々との関わりを地域に残る資料から俯瞰し紹介します。



国宝 孔雀文馨 (個人所蔵)

人びとの暮らしと祈りをテーマに、
おおいたの歴史や
文化の魅力を紹介します。

生死いのり

古墳時代を中心に、おおいたの人びとが暮らした様子を、生や死、祈りといった視点によって紹介します。



豊の古代仏教文化

豊前・豊後地域、なかでも宇佐に生まれた仏教文化について、古代寺院の痕跡を探りながら紹介します。



宇佐八幡の文化

国家神として位置づけられ、広く信仰を集めた八幡神と、それをまつる宇佐宮の歴史について紹介します。



六郷山の文化

国東半島の寺院群、六郷山が育んだ独特な仏教文化について、今なお残る多様な文化財によって紹介します。



富貴寺大堂の世界

六郷山を代表する文化財、国宝富貴寺大堂の世界を、当時の様子を再現した実物大模型や壁画によって紹介します。



広がる仏教文化

磨崖仏・石塔などの石造文化財を筆頭に、全国に誇るべきおおいたの仏教文化について紹介します。



信仰とくらし

人びとがおこなってきた神仏への祈りや日々の暮らしの様子を、信仰用具や民具によって紹介します。

